

Network



緩和ケア講演会

「末期がん患者への心のケア」

広島共立病院 副院長 高永甲 文男



沼野 尚美先生

9月29日(土)午後より、標記テーマで安佐地区医師会からも後援を頂いて講演会を開催しました。講師には、宝塚市立病院緩和ケア病棟・チャプレンカウンセラーの沼野尚美先生をお招きしました。がん医療に対する取り組みは重要であり関心も高く、院内外から103名の参加で盛況に行われました。

講演では、末期ガン患者が発する「5つの叫び」(下表)に、私たち医療者がどのように寄り添っていくのか、患者とのコミュニケーションの回り方や心のケア、アプローチの方法など、先生自身が経験された事例も交えながら分かりやすく解説して頂きました。

末期がん患者へのアプローチについて、余命を告げられることへの残酷さを受けとめ、「今日の一日は短かった」と思わせる時間の過ごし方を援助すること、患者は変えることのできない事実を理解してくれる人を待っており、「いつでも言わせる、言わせてあげる」援助を行うこと、「家族との間で上手く生きられなかった」という気持ちに援助するこ



との大切さについて理解を深めました。

「死をめぐる話題」へのアプローチについては考えさせられました。とくに最期の1カ月は、生命への危機感や身体の変化を強く感じるようになり、この期に、患者が一番話したいことが、「死」をめぐる話です。患者から問いかけられる「死」の話題からは決して逃げず話題を終結させないこと、「とにかく一人にはさせない」援助が大切であることを教わりました。最後に、相手が大切な存在であることを、自分の言葉を通して伝えることの大切さについてふれられました。「大切なことは先延ばしにしないこと」「言葉ですぐに伝えること」～さまざまな患者さんとの関わりを通してのお話に、心が豊かになったひとときとなりました。

緩和ケアの充実で、患者のケアも疼痛コントロールも行き届いている現在です。だからこそ、患者には考えたり見つめたりする時間が増えており、その時間・場面で効果的な援助を行うこと、コミュニケーションを図りながら、いざという時の支えになれる準備が大切であることを学びました。2年後に緩和ケア病棟の開設をめざしている当院において、今回の講演は大変貴重な内容となりました。

(参考図書)「いのちと家族の絆—がん家族のこころの風景」
(沼野尚美著、明石書店 2010年)

末期ガン患者の“5つの叫び”へのアプローチ

- ①残された時間をどう過ごすか～今日の一日は短かった、と思わせる援助を
- ②なぜ私がガンになったのか～いつでも言わせる、言わせてあげられる援助を
- ③心を見つめ過去を振り返るとき～家族との間で上手く生きられなかった、という気持ちに援助を
- ④死の話題を口にしたとき～話題から逃げず終結させない、とにかく一人にはさせない援助を
- ⑤希望を求めるとき～喜びと楽しみを増やす援助を
～患者が待ってくれる、待ってもらえる援助が、医療者の喜びにもつながる

脳神経外科外来



平成 10 年広島大学医学部医学科卒業の岡崎貴仁（おかざきたかひと）と申します。

松江赤十字病院、広島市立安佐市民病院で研修後、平成 14 年から広島大学大学院に入学し脳梗塞に対する再生医療の研究で博士（医学）を取得、その後国立循環器病センター（現：国立循環器病研究センター）脳神経外科に勤務し平成 24 年 4 月から広島大学病院 脳神経外科 助教として勤務しております。

日本脳神経外科学会専門医および日本脳神経血管内治療学会専門医を取得し、現在広島大学病院では未破裂脳動脈瘤やくも膜下出血、頸部内頸動脈狭窄症などの脳血管障害中心に開頭手術および脳血管内治療を担当しております。

外来診療のモットーは「できる限りわかりやすい説明を行い、患者さま自身に病気を理解していただき、医師として病状回復のお手伝いをする」です。

岡崎 貴仁（広島大学病院 脳神経外科 助教）

脳は脳卒中や認知症など、皆様がとても心配になる症状を起こす臓器でありまた、解剖や機能が複雑でわかりにくい臓器でもあります。患者さま自身の現在の脳や血管の状態について理解していただき必要な内服加療を続けていただくとともに、必要であれば画像による経過観察や外科的手術を行っております。入院による内科的治療や外科的治療が必要な場合は、患者さまやご家族の希望に合わせて適切な病院に紹介いたしております。また、患者さまのご希望があれば広島大学病院で高度先進医療を受けていただいております。

また、広島共立病院では、CT および MRI（1.5 テスラ）を有し造影検査も含めて他の病院に負けない画像診断が可能な病院であります。放射線科専門医の先生とともに広島大学病院 脳神経外科の日本脳神経外科専門医の資格を有する医師が読影を行うことで患者さまにより質の高い画像診断および治療を提供できるものと考えております。

患者さまを第一に考えた診療を行っておりますので遠慮なくご相談いただければ幸いです。よろしく願いいたします。

皮膚科外来

皮膚科の外来診察時間は月曜日の午前中、水曜日の午後、金曜日の午後の週 3 回です。それぞれ木矢医師、戸田医師、田中が広島大学より非常勤として派遣され、外来診察を行っています。

皮膚科ですので、皮膚に生じる疾患を主に取り扱います。じんましん、湿疹、アトピー性皮膚炎といった皮膚の炎症は通年多く診察していますが、季節なりの病気が多いのが皮膚科の特徴です。春は花粉症や黄砂によるお顔の炎症や毛虫による皮膚炎。夏は虫さされ・水虫・あせも・とびひ。冬は乾燥性の皮膚炎、しもやけ、低温やけど。お盆やお正月が終わったあとは帯状疱疹！（くたびれるとできやすいのです）、といった具合です。必要に応じて、処置を行ったり、皮膚生検という皮膚を一部切り取る検査も行ったりしています。

皮膚の炎症だけではなく、皮膚のできものも診察しています。良性の腫瘍が多いですが、時に悪性の

田中 麻衣子（広島大学病院 皮膚科 助教）

がんのこともあります。小さなものであれば外来で局所麻酔をして切除することもできます。傷跡が目立つ



左から、木矢医師、田中医師、戸田医師
場所である時、大きなもの、悪性が疑われる時など、適宜広島大学病院や安佐市民病院などに紹介させていただきます。

レーザーやピーリングといった、保険診療外の自費診療となるような、美容皮膚科的なことは行っておりません。

週に 3 回でこじんまりとしておりますが、努力して最大限の診療を行ってゆきますので、これからも皮膚科外来をよろしく願いいたします。

第19回 安川河畔カンファレンス

19th YRC (Yasu Riverside Conference)

2012年9月12日に開催した19th YRCのダイジェストをお届けします。

広島共立病院 院長 村田 裕彦

劇症1型糖尿病の1例

広島共立病院 内科 研修医 大井 勝博



症例は40歳代女性。主訴は腹痛・嘔吐。腹痛の原因は画像診断上認められず、来院時血糖630、HbA1c(NGSP) 6.5%、尿ケトン体3+、尿糖4+であった。糖尿病の既往はなく、他の追加検査とあわせて劇症1型糖尿病と診断し、治療を開始した。劇症1型糖尿病は、腹痛や上気道炎症状を伴う事が70%と高く、日常診療で注意すべき疾患である。見落とさない為には、この疾患の存在を知っておく事と、検尿などの簡易にできる検査を行っておくことが有用である。

劇症1型糖尿病診断基準

～下記1～3の全てを満たすもの～

1. 糖尿病症状発現後1週間前後以内でケトーシスあるいはケトアシドーシスに陥る。(初診時尿ケトン体陽性or血中ケトン体上昇を認める)
2. 初診時の(随時)血糖値が288mg/dl以上でありかつHbA1c<8.5%である。
3. 発症時の尿中Cペプチド<10μg/dayまたは空腹時血清Cペプチド<0.3ng/mlかつグルカゴン負荷後(または食後2時間)血清Cペプチド<0.5ng/mlである。



術前化学療法が著効し根治的手術が可能となった胃癌と大腸癌症例

広島共立病院 外科部長 大田垣 純



切除不能な進行癌に対して手術を行う事の有用性は証明されていないが、術前化学療法を行いdown stagingして手術する報告がされている。今回当院でも、術前化学療法が著効し根治的手術が可能になった2症例を経験した。1例目は胃癌で、ドセタキセル+TS1療法を3コース行い著効したため根治手術が可能になった。2例目は大腸癌で、FOLFOX+ベバシズマブ療法を8コース行い著しい縮小効果を認め根治手術が可能になった。

まとめ

StageIVの胃癌や大腸癌に対し減量手術を行うことに延命効果のevidenceはなく、むしろ進行を早める結果となることが多い。癌による閉塞、出血や穿孔などのOncologic emergencyがある場合は手術を優先させる必要がある。しかし、癌による症状がない場合には術前化学療法(Neo Adjuvant Chemotherapy)を行いdown stagingさせてからRO(癌の残存がない)の手術が行えれば良好な結果が得られるとの報告が多くなっている。

根治的手術が不可能な胃癌と大腸癌に対し術前化学療法を行い、十分な縮小効果が認められ根治的手術が行えた症例を経験し報告した。



「死なせる医療」～かかりつけ医の取り組み

医療法人社団恵正会 理事長 二宮 正則 先生



世界で類を見ない超高齢化社会を迎えた我が国では、在宅医療の充実と、それを支えるシステムの構築が喫緊の課題である。法人内の施設だけでなく、他の数人の開業医や施設と緩やかな連携をつくり、小回りのきく在宅医療を実践している。老健や特養などの介護施設で対応できない患者さんをどのように診ていくかがこれからの課題であり、本年9月10日に開設した住宅「ラシュール メゾン やすらぎ」はその一つの取り組み。非癌も含めた終末期で、医療必要度の高い方を対象とし、医療・介護保険の両制度を利用したシステムを構築していく。

対象となる入居者像

- 終末期(がん、非がん)の方
 - 医療必要度(依存度)の高い方
- 簡単な言うと
- 介護面で在宅では無理だろう
 - 施設では医療面でちょっと・・・

医療・介護保険の両制度を利用したシステムを構築

診療案内

第2・第4土曜日を休診にさせていただいております。 **予約制** とは事前予約が必要です。 **予約可** とは予約無しでも受診可能です。

	診療開始～受付終了	専門外来等	月	火	水	木	金	土	
健診	(市・被爆者・政官健保等各種健診、人間ドック他) ①乳がん検診	予約制	①青木	青木 ①青木 被爆者外来 2時～5時 青木	山田 ①青木 2時～5時 三宅	丸屋 青木 ①青木	寺谷 ①青木 2時～5時 三田尾	1.3.5週 三田尾 ①青木	
禁煙支援外来	午後(担当医 青木)	再診のみ 予約制	2時～外科外来	12時～健診外来					
内科 (当院に初めて受診される方は、予約制ではありません)	午前9時～11時30分	初診(再診) 予約可	寺谷・山田 迫本	寺谷・山田 中村	山肩・加太 ウオン	寺谷・三田尾 中村・大谷	三宅・山田 迫本	1.3.5週 三宅・山田 鷹屋	
		循環器内科 予約制	鷹屋		村田・鷹屋		村田	1.3.5週 村田	
		呼吸器内科 予約制		木山					
		消化器内科 予約制	三田尾	西原	三田尾	西原	加太	1.3.5週 ウオン	
	午後5時～6時30分 (定期通院されている 予約の方のみ)	呼吸器内科 予約制				木山			
		循環器内科 予約制				鷹屋			
午前9時～11時30分	糖尿病内科 予約制	森下		森下		森下	1.3.5週 森下・大谷		
精神科	医師の退任により休診いたします								
リハビリテーション科	午前9時～9時30分	理学・作業・言語・ 物理の各療法	○	○	○	○	○	1.3.5週 ○	
	午後1時30分～4時30分		○	○	○	○	○	午後休診	
外科	午前9時～11時30分 ※第3土曜日 (予約のみ)高永甲	予約可	大田垣	高永甲 野間	高永甲 10時まで 迫川	高永甲 大田垣	青木 迫川	1週 高永甲・野間 3週 大田垣・迫川 高永甲 5週 交替	
	午後3時～4時30分		2時～ 青木				高永甲	午後休診	
脳外科	午後2時～4時30分	予約可					広島大学		
心臓血管外科	午後2時～4時30分	予約可				広島大学			
整形外科	午前9時～11時30分	予約可	市川 田尻	田中 森	泉 森	市川 田中	田中 田尻	1週 田中・田尻 3週 市川・森 5週 交替	
	午後4時～6時30分	(両リウマチ) (両手・肘)		1.3.5週 市川 2週 森・4週 田中 田尻		亀井 森		午後休診	
小児科	午前9時～11時30分	㊦小児一般	㊦東	㊦森下	㊦東	㊦森下	㊦東	㊦1.5週 東	
	午後2時～3時	㊦アレルギー 予約制	㊦森下	㊦2時～6時 東	㊦2時～4時30分	㊦東	㊦乳1時～3時 森下 ㊦3時～4時 東	㊦3週 森下	
	午後3時～4時30分	㊦予防接種 予約制	㊦森下	㊦3時～4時30分 森下	1.3.5週 森下 2.4週 東	㊦東	㊦森下	午後休診	
	午後5時～6時	㊦乳児健診 予約制		㊦5時～6時					
午後2時～5時	㊦カウンセリング 予約制	芳西							
眼科	午前9時～11時30分			出口		高本			
泌尿器科	午前9時～11時30分	予約可	山崎	永松	山崎	永松	永松	1.3.5週 山崎	
	午後2時～4時30分		山崎	永松	山崎	山崎	山崎	午後休診	
耳鼻いんこう科	午前9時～11時30分	予約可	築家	築家	築家	築家	築家	1.3.5週 築家	
	午後3時～4時30分		築家			築家	築家	午後休診	
皮膚科	午前9時～11時30分	予約可	木矢						
	午後2時～4時30分	予約可			戸田		田中		
産婦人科	午前9時～11時30分	子宮がん検診 予約制	三田尾	三田尾	三田尾	佐能	三田尾	1.3.5週 広島大学 (検診のみ 9時～12時)	
	午後2時～4時30分		三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾		

地域連携室だより

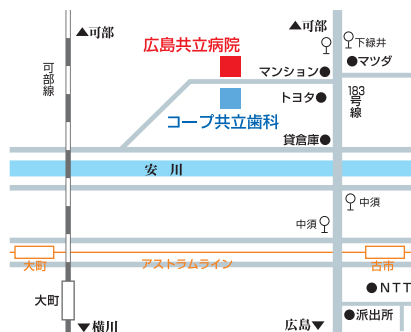
このコーナーでは地域連携室から折々のお知らせや統計などを掲載しています。

2012年度 **紹介患者数総計** **上半期: 2,678件**

〈種別〉 ●外来: 1,124件 ●入院: 694件 ●検査: 860件
〈科別〉 ◆内科: 1,588件 ◆整形外科: 574件 ◆外科: 254件 ◆小児科: 121件 ◆泌尿器科: 65件
〈オープン検査〉 ■CT: 293件 ■MR: 170件 ■上部内視鏡: 138件 ■下部内視鏡: 134件 ■腹工コー: 32件

広島共立病院 オープンカンファレンス

- とき: 2012年11月14日(水) 19時～
- ところ: 広島共立病院 7階
- 内容: 特別講演
「炎症性腸疾患の最近の話題」
広島記念病院 診療部長・内科医長 隅井 雅晴 先生



広島医療生活協同組合

広島共立病院

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目19-6
TEL.082-879-1111(代)

URL <http://www.hiroshimairyo.or.jp>
E-mail kyoritsu@hiroshimairyo.or.jp